



平成21年10月23日

各 位

会 社 名 イメージ情報開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 代永 拓史
 (コード番号 3803 大証ヘラクレス)
 問合せ先
 経営管理室ジェネラルマネージャー
 百瀬 哲
 (TEL03-5733-5631)

連結決算開始に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、すでに公表しております通り、平成21年7月にNSセミコン株式会社を子会社化したことに伴い、従来単独で行っておりました決算を当第2四半期より連結決算に移行することになりましたので、今般、平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の連結業績予想を、下記の通りお知らせいたします。

また、平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想について、平成21年5月14日付当社「平成21年3月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想を最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期連結累計期間業績予想(平成21年4月1日～平成21年9月30日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
第2四半期連結累計期間	314	△38	△31	△35	△4,219円17銭

平成22年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想における利益が、第2四半期累計期間個別業績予想における利益に比較して悪化しております。売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益が悪化している理由としましては、当社の業績修正によるものであります。

2. 平成22年3月期通期連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
通期	1,211	30	50	24	2,872円53銭

平成22年3月期通期の連結業績予想における利益が、通期個別業績予想における利益に比較して悪化しております。営業利益、経常利益、当期純利益が悪化している理由としましては、当社の業績修正によるものであります。

3. 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	600	34	38	13	1,552円23銭
今回修正予想 (B)	306	△34	△28	△31	△3,788円45銭
増減額(B)－(A)	△294	△68	△66	△44	－
増減率 %	△49.0%	－	－	－	－
前期実績 (平成21年3月期 第2四半期累計期間)	648	21	23	23	2,766円29銭

(注) 前回発表予想及び今回修正予想の「1株あたり四半期純利益」については、四半期純利益の予想額を当第2四半期累計期間における期中平均株式数で除した数値であります。

4. 平成22年3月期通期個別業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,200	75	80	30	3,590円66銭
今回修正予想 (B)	1,000	22	29	18	2,154円39銭
増減額(B)－(A)	△200	△53	△51	△12	－
増減率 %	△16.7%	△70.7%	△63.8%	△40.0%	－
前期実績 (平成21年3月期)	1,032	38	55	48	5,677円76銭

(注) 前回発表予想及び今回修正予想の「1株あたり当期純利益」については、当期純利益の予想額を当事業年度の期中平均株式数(予測値)で除した数値であります。

5. 修正の理由

(1) 平成22年3月期第2四半期累計期間の修正理由

- ① 売上高につきましては、長引く国内外の景気低迷に加えて大型案件の受注の遅れ等の影響もあり、前回発表予想を294百万下回る見込みであります。
- ② 営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減等の努力を致しましたが、売上高減少の影響があり、前回発表予想を68百万下回る見込みであります。
- ③ 経常利益につきましては、売上高減少の影響を受けることにより28百万円の経常損失の見込みとなり、これに伴い、四半期純利益は前回発表予想より大幅に下回り、31百万円の四半期純損失の見込みであります。

(2) 平成22年3月期通期の修正理由

- ① 売上高につきましては、長引く国内外の景気低迷等の影響による売上の減少を考慮し修正したことにより、当初予想比較におきまして200百万の減少となる見込みであります。
- ② 営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減等の努力を致しますが、売上高減少の影響により53百万の減少となる見込みであります。
- ③ 経常利益につきましては、売上高減少を想定し、当初予想比較におきまして51百万の減少となる見込みであり、これに伴い、当期純利益は前回発表予想より12百万下回る見込みであります。

以上

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と異なる場合があります。